

講義名	日本語総合A(1年生のみ)			授業形態	
担当教員	小野 勝	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

大学生活を送るための基礎的な日本語能力を身に付ける。この授業では、日本語の文法項目について、基本的なものから日本語能力試験上級レベルのものに至るまで、幅広く意味や使い方を学ぶ。また、文法知識を学ぶだけではなく、実際の日本語でのコミュニケーションや作文でどのように使われるかを考え、様々な課題に取り組むことを通じて、実際の生活の場面で応用できるようにすることを旨とする。

到達目標

授業で扱った文法項目の理解だけでなく、運用能力を身に付け、日常生活でのコミュニケーションや大学での学習に対応できるようになる。様々な場面において、日本語で自分の意見を伝えたり、課題を解決したりすることができるようになる。

提出課題

毎回、授業のテーマに即したワークシートを配布するので、指示に従ってそれを完成させる。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

ワークシート、宿題、小テスト等は添削して返却する。受講生の多くに間違いが見られた問題に関しては、再度解説を行う。

評価の基準

授業中の課題達成度（20％）、小テスト等（20％）、中間の理解度確認（30％）、期末の理解度確認（30％）
授業を5回以上欠席した受講生については、成績評価の対象から外す。

履修にあたっての注意・助言他

毎回の授業で出席をとる。
授業中の私語及びスマホ等の不必要な使用は慎むこと。
日常的に予習、復習を心がけ、日本語に触れる環境を意識して作ること。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

プリント資料等は必要に応じて配布する。文献は適宜指示する。

授業計画

- 第1回 授業の説明（授業の進め方、スケジュール、評価の方法、注意事項）
予習内容：シラバスを確認して授業内容を把握し、関連事項について内容を理解する。（120分）
復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）
- 第2回 対象を視覚や聴覚で与え、それに対する印象を述べる表現を学ぶ
予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分）
復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）
- 第3回 自らの行動の理由を述べる表現を学ぶ
予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分）
復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）
- 第4回 二つの事柄を挙げ、その一方、または双方について評価する表現を学ぶ
予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分）
復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）
- 第5回 自らの感情、態度がどの程度であるかと述べる表現を学ぶ
予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分）
復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）
- 第6回 「ない」を二度用いた、二重否定による婉曲さを含んだ意思表現を学ぶ
予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分）
復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）
- 第7回 強い意思をもって自らの行動や相手への忠告を述べる表現を学ぶ
予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分）
復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。中間の理解度確認のための準備をしておく。（120分）
- 第8回 中間の理解度確認
予習内容：中間の理解度確認のための準備をしておく。（120分）
復習内容：中間の理解度確認で達成度の低かった箇所を中心に復習し、内容の理解を深める。（120分）
- 第9回 ある行動から導かれた結果が良い場合、悪い場合のそれぞれの表現を学ぶ
予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分）
復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）
- 第10回 複合動詞を用いて、その行動がどの段階まで進んでいるかを述べる表現を学ぶ
予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分）
復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）
- 第11回 時間や場所の範囲を定め、ある物事がその範囲のどこに位置するかを述べる表現を学ぶ
予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分）
復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）
- 第12回 その結論に至った理由を強調する表現を学ぶ
予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分）
復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）
- 第13回 ある状況を仮定して、その時に発生が予想される事柄を述べる表現を学ぶ
予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分）
復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）
- 第14回 一方の状態の変化に合わせて発生する、もつ一方に与えられる変化を述べる表現を学ぶ
予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。新出項目に関する概要をまとめておく。（120分）
復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。期末の理解度確認のための準備をしておく。（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

物事に自ら進んで取り組むことができるようになる。
自ら目標を設定し、他に依存することなくそれを成し遂げることができるようになる。
課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・整理し、解決できるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考